



月刊アシスト

人はなぜ学ぶのか

二学期が始まり、一カ月。中間・期末が終われば、受験までまじぐらー！ということ、ここで一度初心に立ち返ってみたいと思います。

小テストの直しや、やってもやっても終わらない宿題を抱えた生徒達が口にするのは「なんで勉強しなくちゃいけないの？」という疑問です。

そうですね。では、なぜ人は勉強するのでしょうか。その答えの一つとして、今月は、中2合宿の開校式でも話にあがった福沢諭吉「学問のすすめ」を取り上げます。

10月の生徒目標
1 受験生
偏差値5UP
21、2年生
50点アップ

天は人の上に人を造ら

ず人の下に人を造らず」と言えり。されば天より人を生ずるには、万人は万人皆同じ位にして、生れながら貴賤上下の差別なく、万物の靈たる身と心との働きをもって天地の間にあるよろずの者を造り、もって衣食住の用を達し、自由自在、互いに人の妨げをなさずしておのおの安楽にこの世を渡らしめ給うの趣意なり。

冒頭の「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」はあまりにも有名です。これは、アメリカ独立宣言からの引用ですが、本当に福沢諭吉が言いたかったのは「されども」から後のくだりです。

されども、今広くこの人間世界を見渡すに、かしこ

き人あり、あろかなる人あり、貧しきもあり、富めるものあり、貴人もあり、下人もありて、その有様雲と泥との相違あるに似たるは何ぞや。その次第甚だ明らかなり。「実語教」に「人学ばされば智なし、智なき者は愚人なり」とあり。されば賢人と愚人との別は学ぶと学ばざるに由って出来るものなり。

(現代語訳)

だが、現代社会を見るに、賢い人と愚かな人、貧しい人と裕福な人、身分の高い人と低い人がいて、そのありさまは雲泥の差があるのは、どういうわけか。答えは簡単だ。

「実語教」(平安時代成立、鎌倉・江戸と広く読まれた書物)に「学ばなければ智恵はない、智恵のない人は愚かな人だ」とある。ということは、賢い人と愚かな人との差は、学ぶか学ばないかによって、できるものだと見える。



日本でだいぶ定着してきた「ハロウィーン」ですがアシストも、昨年に引き続きパーティーを行います。

スケジュールなどは、各校にお問い合わせください。みなさんの参加を、お待ちしております！

イベントスタッフ一同

自分の器、可能性を広げるため、努力や継続の難しさ、大切さを知る、など、学ぶ意義はいろいろです。

しかし、その根本は「勉強すること、自分が幸せになること、自分が幸せになれば、周りも幸せになる。周りが幸せになれば、国が豊かになる。」ことではないでしょうか。

不幸になるために生まれた人はいません。精神的にも物質的にも豊かになり、自分、家族、社会、国が幸せになる

相談コーナー

ために人は学ぶのだということとを、生徒・保護者の皆さんと共有したいと思えます。

教室担当者に相談しにくいことや、塾全体へのご意見、ご要望は本部へお電話下さい。なお、生徒さんの学習相談、欠席連絡、科目変更、各種費用等のお問い合わせは、お通いの教室にお願いします。新・個別指導アシスト 本部 047(346)2622 平日 午前十時〜午後八時